事業番号

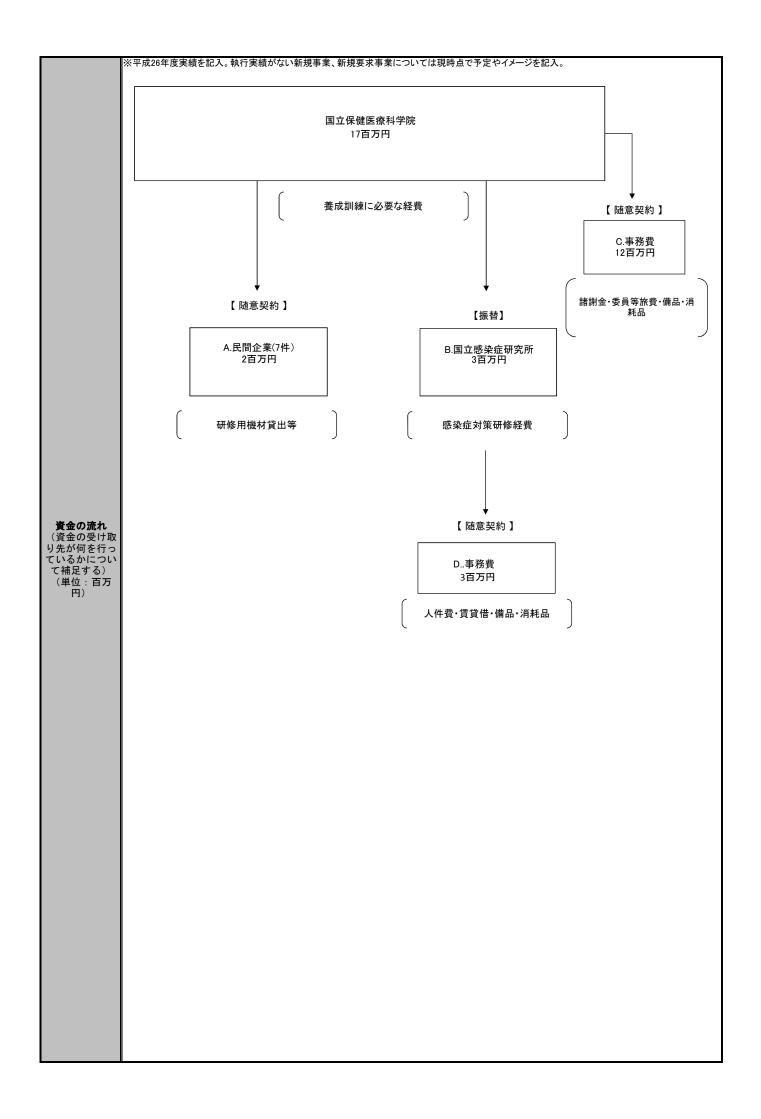
0874

										事業番·		0874		
				平成	27年度行	<u> </u>	事業レ	<u>゚ヹュ</u>	ーシート(	厚	<b>享生労働省</b>	ì )		
2	事業名	短期研修経費				担当部局庁		国立保健医療科	学院		作成責任者			
事業開始年度				<b>終了</b> ) <b>年度</b> 終了予定なし		担当課室		総務部会計課		川又	、 功			
会	計区分	一般会計				政策・	施策名	<b>塩策名</b> X I - 1 - 1 国立試験研究機関の適正かつ効果 を確保すること						
[]	<b>拠法令</b> 具体的な 頃も記載)	-					関係する計画、 国立保健医療科学院教育訓練規程(第6条)(厚生 通知等				三労働省訓練第38号)			
主要	政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション、 男女共同参画				主要	経費	文教及び科学振興						
(目	<b>業の目的</b> 指す姿を簡 3行程度以 内)	保健医療、生活衛生及びこれらに関連する社会福祉の分野の関係業務に従事している者に対して、業務に関する最新の知識、技術等を授けることを目的としている。												
(5行	¥概要 程度以内。  添可)	保健医療、生活衛生及びこれらに関連する社会福祉の分野の関係業務に従事している者に対して、地域医療連携マネジメント研修、水道工学研修、薬事衛生管理研修、児童虐待防止研修などで各分野の最新の知識、技術等の研修を実施する。												
実施方法		直接実施												
	5 算額 · 執行額			24年度			25年度		26年度	27年	度	28年度要求		
		빌	4初予算		24		21		17	18		16		
		補正予算		-		-		-						
			むら繰越し	-		-		-	-					
		の状 況 翌年度へ繰越し 予備費等 計 執行額		-		-		-						
	<b>戌11亩</b> 位∶百万円)			-		-		-	-					
				24		21		17	17 18		16			
								17	- 10					
				19		18								
		→ 執行率(%) 		79%		86%		100%						
成里	目標及び成	定量的な成果目標		成果指標			単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27 年度			
اِ	果実績	前年度に実施について、毎年		TT		成果実績	%	89	96	96				
(ア	ウトカム)	程度について、フォローアップ調査を実施し、有益度 90%以上を目標とする。		研修受講者に対する有益 度の調査		目標値	%	90	90	90	90			
						達成度	%	99%	107%	107%				
ct #1	D 福 TA * / /	について 与年をの1 /2					単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27 年度			
	目標及び成 果実績					成果実績	%	94	99	91				
(ア	ウトカム)			研修派	研修派遣元に対する有益 度の調査		目標値	%	90	90	90	90		
				及び間直		達成度	%	104%	110%	101%				
		活動指標					単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込			
1	指標及び活動実績 ウトプット)	[募集定員]				活動実績	人	1,354	1,257	1,307				
(アワトノット)		平成24年度 30コース 1,115人 平成25年度 27コース 1,130人 平成26年度 28コース 1,215人				当初見込み	人	1,115	1,130	1,215	1,130			
		算出根拠					単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込			
	位当たり					単位当たりコスト	円	14,312	14,499	12,635	15,495			
	コスト	X: 当該年度執行額/Y			∕∶当該年度受講者数		計算式	X/Y	•	18,225,000円/1,257人		·		
平			27年度当初	27年度当初予算		8年度要求		主な増減理由						
<b>⊏</b> ₹7	諸謝金	6		5		諸	諸謝金の減及び外国人招へい旅費・外国人滞在費の減							
	職員旅費				0									
位。	委員等旅費				3									
	庁費	1			1									
百万円)	試験研究費				7									
	外国人招へ	<b>↑国人招へい旅費・外国人</b>		1 0										
M	滞在費					$\dashv$								
訳		計	18		16									

			事業所管部局による点検	改善		
	I	頁 目		評価	評価に関する説明	
国を受し	事業の目的は国民や社会のニーズを的	確に反映している	0	地方自治体等において保健医療福祉業務に携わる職員 対して研修を行い、資質の向上を図ることにより国民の ニーズに応えており、他で行っていない研修であり、国費 投入して実施すべきである。		
٥ چ	地方自治体、民間等に委ねることができ	ない事業なのか	0	地方自治体等では実施が困難な専門的かつ高度な研修実施しており、国が実施すべき事業である。		
Ę	政策目的の達成手段として必要かつ適 事業か。	切な事業か。政策	0	ニーズに合っていない研修は見直しを行い、常に資質の 上を目指した研修となっており、優先度は高い。		
事業の効	競争性が確保されているなど支出先のi	選定は妥当か。	0	個々の契約が100万円未満のものについて少額随意契約 とした。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		0	必要に応じ実費負担を求めている。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		0	前年度に比べ、単位当たりコストは低下している。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理	目的なものとなって	-	-		
生	費目・使途が事業目的に即し真に必要な	はものに限定され	0	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定している		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当	か。(理由を右に	-	-		
	その他コスト削減や効率化に向けたエチ	きは行われている	るか	0	両面コピーの活用やペーパーレス化の促進を行っている	
事業	成果実績は成果目標に見合ったものとな	なっているか		0	成果実績は成果目標を上回っている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等だあるいは低コストで実施できているか。	が考えられる場合	0	各研修について修了時アンケートの満足度、理解度等に り次回の研修に反映させているためより効果的な研修と なっている。		
, 为 生	活動実績は見込みに見合ったものである	るか。		0	活動実績は見込み以上である。	
_	整備された施設や成果物は十分に活用	されているか。	0	研修を受講した者が自治体等において研修成果を生かし 指導にあたっている。		
	関連する事業がある場合、他部局・他府 割分担の具体的な内容を各事業の右に			0	地方公共団体等職員に対して研修を行う点で類似していが、それぞれ職員の専門に応じた異なる研修を実施して	
Ą	所管府省•部局名	事業番号	事業番号事業名		─り、適切な役割分担となっている。 ──	
車事業	厚生労働省·国立保健医療科学院	875 専	℡門∙研究課程教育費		短期研修事業:保健医療等に係る業務に関する最新の知識、技術等の伝授専門・研究課程教育費:保健医療等に係る研究活動(研究)	
R						
· 人	平成20年度からフォローア きな差はなく、研修生、派遣 なお、活動実績については	元ともに評価は	高い。	も成果目	課程)及び専門性を有する職業に必要な高度の能力の養	
	点検結果 きな差はなく、研修生、派遣なお、活動実績については 改善の	記元ともに評価は 平成26年度も引 -アップ調査の結	高い。 き続き指標を上回った。 	研修内容	課程)及び専門性を有する職業に必要な高度の能力の養成(専門課程) 成(専門課程) 標を達成した。全体的な回答傾向も研修ごとにそれほど大	
「気食・女害	点検結果 きな差はなく、研修生、派遣なお、活動実績については 改善の	記元ともに評価は 平成26年度も引 -アップ調査の結	高い。 き続き指標を上回った。 	研修内容	課程)及び専門性を有する職業に必要な高度の能力の養成(専門課程) 標を達成した。全体的な回答傾向も研修ごとにそれほど大 ・体制にフィードバックする形でより質の高い研修となるよ	
「「「「「「」」 「大き古!」	点検結果 きな差はなく、研修生、派遣なお、活動実績については 改善の	記元ともに評価は 平成26年度も引 -アップ調査の結	高い。 き続き指標を上回った。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	研修内容	課程)及び専門性を有する職業に必要な高度の能力の養成(専門課程) 標を達成した。全体的な回答傾向も研修ごとにそれほど大 ・体制にフィードバックする形でより質の高い研修となるよ	
「「「「「「」」 「大き古!」	点検結果 きな差はなく、研修生、派遣なお、活動実績については	記元ともに評価は 平成26年度も引 一アップ調査の結 記で実施すべき研	高い。 き続き指標を上回った。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	研修内容常に検討	課程)及び専門性を有する職業に必要な高度の能力の養成(専門課程) 標を達成した。全体的な回答傾向も研修ごとにそれほど大 ・体制にフィードバックする形でより質の高い研修となるよ	
「「「「「「」」 「大会・女者吉見」	点検結果 きな差はなく、研修生、派遣なお、活動実績については	記元ともに評価は 平成26年度も引 一アップ調査の結 記で実施すべき研	高い。 き続き指標を上回った。 	研修内容常に検討	課程)及び専門性を有する職業に必要な高度の能力の養成(専門課程) 標を達成した。全体的な回答傾向も研修ごとにそれほど大 ・体制にフィードバックする形でより質の高い研修となるよ	
「「「「「「」」 「大会・女者吉見」	点検結果 きな差はなく、研修生、派遣なお、活動実績については	元ともに評価は 平成26年度も引 一アップ調査の結 記で実施すべき研	高い。 き続き指標を上回った。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	研修内容 常に検討	課程)及び専門性を有する職業に必要な高度の能力の養成(専門課程) 標を達成した。全体的な回答傾向も研修ごとにそれほど大 ・体制にフィードバックする形でより質の高い研修となるよ	
「「「「「「」」 「大会・女者吉見」	点検結果 きな差はなく、研修生、派遣なお、活動実績については	記元ともに評価は 平成26年度も引 ・アップ調査の結 ・記で実施すべき研 ・ 行 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	高い。 き続き指標を上回った。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	研修内容 常に検討 <b>ふの所見</b> 、資質の	課程)及び専門性を有する職業に必要な高度の能力の養成(専門課程) 標を達成した。全体的な回答傾向も研修ごとにそれほど大いないでは、 ・体制にフィードバックする形でより質の高い研修となるよけしており、適宜見直しを行っている。	
「「「「「「」」 「大会・女者吉見」	点検結果 きな差はなく、研修生、派遣なお、活動実績については	記元ともに評価は 平成26年度も引 ・アップ調査の結 ・記で実施すべき研 ・ 行 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	高い。 き続き指標を上回った。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	研修内容 常に検討 <b>ふの所見</b> 、資質の	課程)及び専門性を有する職業に必要な高度の能力の養成(専門課程) 標を達成した。全体的な回答傾向も研修ごとにそれほど大いないでは、 ・体制にフィードバックする形でより質の高い研修となるよけしており、適宜見直しを行っている。	
「「「「「「」」 「大会・女者吉見」	点検結果 きな差はなく、研修生、派遣なお、活動実績については	記元ともに評価は 平成26年度も引 ・アップ調査の結 ・記で実施すべき研 ・ 行 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	高い。 き続き指標を上回った。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	研修内容 常に検討 <b>ふの所見</b> 、資質の	課程)及び専門性を有する職業に必要な高度の能力の著成(専門課程) 標を達成した。全体的な回答傾向も研修ごとにそれほど大いないでは、 ・体制にフィードバックする形でより質の高い研修となるよけしており、適宜見直しを行っている。	

## 関連する過去のレビューシートの事業番号 平成22年度 593 平成23年度 540 平成24年度 479 平成25年度 863 平成26年度 863

備考



A. E. 金 額 (百万円) 金額 費目 費目 使 途 使 途 (百万円) 100万円以上の支出先なし 計 計 B.国立感染症研究所 F. 金額(百万円) 金額(百万円) 費目 費目 使 途 消耗品 1.5 検査用消耗品等 備品 検査機器等 人件費 賃金 0.8 **費目・使途** (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 賃貸借 顕微鏡賃貸借 0.1 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載) 計 3.4 計 C. G. 金 額 (百万円) 金 額 (百万円) 費目 使 途 費目 使 途 100万円以上の支出先なし 計 D.岩井化学薬品株式会社 H. 金額(百万円) 金 額 (百万円) 費目 使 途 費目 使 途 消耗品 検査用消耗品購入 賃貸借 0.1 顕微鏡賃貸借 1.1

## 支出先上位10者リスト

支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
オリンパスメディカルサイエン ス販売株式会社	顕微鏡等賃貸借	0.5	随意契約	ı
2 有限会社正陽印刷	修了証書印刷	0.5	随意契約	ı
3 株式会社三啓	顕微鏡等賃貸借	0.4	随意契約	-
4 外国文献社	アンケート調査データ入力	0.2	随意契約	-
5 外国文献社	短期研修アンケート入力	0.2	随意契約	-
6 大和タクシー有限会社	タクシー利用	0.3	随意契約	-
7 株式会社昭和交通	タクシー利用	0	随意契約	-

 支出先
 業務概要
 支出額 (百万円)
 入札者数 落札率

 1 国立感染症研究所
 感染症対策研修
 3.4

支 出 額(百万円) 支出先 業務概要 入札者数 落札率 1 朝霞税務署 諸謝金・委員等旅費等にかかる源泉徴収所得税 2 個人A 委員等旅費•諸謝金 0.5 3 レノバサイエンス株式会社 検査用消耗品 0.5 随意契約 4 株式会社紀伊国屋書店 和書購入 0.5 随意契約 5 株式会社ニュートリノ 0.4 随意契約 洋書購入 6 フェスティーナレンテ株式会社 事務用消耗品購入 0.3 随意契約 7 株式会社三省堂書店 和書購入 0.3 随意契約 8 個人B 委員等旅費•諸謝金 0.3 9 個人C 委員等旅費·諸謝金 0.3 個人D 10 委員等旅費·諸謝金 0.2

D 支 出 額(百万円) 支 出 先 入札者数 落札率 業務概要 1 岩井化学薬品株式会社 検査用消耗品購入 1 随意契約 2 岩井化学薬品株式会社 顕微鏡賃貸借 0.1 随意契約 賃金 3 非常勤職員 8.0 4 株式会社チヨダサイエンス 検査用機器等購入 0.7 随意契約 5 株式会社チヨダサイエンス 検査用消耗品購入 0 随意契約 6 堀内電機株式会社 OA機器等購入 0.3 随意契約 7 株式会社高長 検査用消耗品購入 0.1 随意契約 8 尾崎理化株式会社 検査用消耗品購入 0.1 随意契約 9 株式会社バイオシス 検査用消耗品購入 0.1 随意契約 10 美津野商事株式会社 事務用消耗品購入 0.1 随意契約 理科研株式会社 検査用消耗品購入 0 随意契約 0 随意契約 12 株式会社豊島製作所 検査用消耗品購入